



ID:KABA (半角大文字)

PW:2019 (半角数字)

どこの地域でどのような提案
があるのか検索可能です！

くらしの相談

よしのひでくに

吉野 英国

担当者レポート No 37

6月議会にて市に質問

カーボンニュートラルへの取組

1、豊田市環境基本計画の中間見直し後の取組

私：今年度、国が進める事業に豊田市が応募し採択を受けたとの事ですが、それはどのようなものなのか。

カーボンニュートラルの推進には莫大な費用がかかる。国からの補助は重要です。

市：採択をされた事業内容は、公共施設への太陽光発電の導入や、民間への太陽光発電や電動車の普及支援を加速化していくもので、民間事業者を含めた本市全体の取り組みをより一層進展させることができる。

2、再生可能エネルギー推進の取組

私：今後の再生可能エネルギー活用における市の取組の方向性について伺う。

再生可能エネルギーを熱として用いる取り組む方法もあります。

市：再生可能エネルギーについては、様々な自然由来のエネルギーが利用されているが、建物の屋根や敷地などに比較的容易に設置できる太陽光発電を中心に今後も普及させていきたい。現在、「ペロブスカイト太陽電池」などの次世代型太陽電池が期待されており、本市としても情報収集に努めているところです。

3、水素社会構築に向けた取組

私：水素社会構築に向け、具体的な取組を加速化していくと同っているが、その取組の方向性について伺う。

水素の普及は関連企業や近隣自治体との連携が重要です。

市：水素は、再生可能エネルギーを補完するエネルギーとして、将来的な脱炭素化や、水素関連技術の活用による産業振興にも寄与するものです。市民生活においても、様々な場面での活用が期待されており、これらの水素活用のメリットを踏まえ、市では、水素を「つくる・はこぶ・つかう」の観点から、公民連携による取組を加速する考えです。私：今後水素活用のためには、第9次総合計画や、次期環境基本計画に水素の活用の考えを
入れ込んだ物にしなければならないと考えます。

市の基本的な計画に水素活用の考えが必要です。

市：本市の水素活用に向けた考え方の整理に向けては、市内にワーキングチームを設置し、各部の水素活用に向けた具体策も念頭に検討を進めるほか、並行して進めている「第9次総合計画」や「豊田市環境基本計画」の策定状況等を随時把握し、内容の整合性が図られるように努めてまいります。

4、カーボンニュートラル推進に向けた今後の取組

私：再生可能エネルギーや水素社会構築について2050年を見据えた今後の市の考え方や、

第9次総合計画への織り込みについて、市長の考えを伺う。

市長が長期ビジョン描くことが重要です。

市長：多様な再生可能エネルギーの最大限の活用や省エネの徹底に加え、水素や新型太陽電池をはじめとした先進技術の率先活用に着手することや、従来の環境分野の取組に加え、経済・社会など幅広い分野を対象に、SDGsの視点も織り交ぜながら、気候変動や産業構造の変化など、変わりゆく社会環境の変化に柔軟に対応していく。

今回の一般質問は今後のカーボンニュートラルの取組の方向性について質問しましたが、今後も豊田市の未来の発展につながる質問をして行きます。



太田市長



豊田市の令和6年度の取組み

結婚新生活支援

<概要>

・新婚世帯の住宅取得、リフォーム、家賃等の費用及び引越費用

<対象>

婚姻日がR6年1/1～R7年3/31



<要件>

・夫婦ともに婚姻日に**39歳以下**

<補助額> **夫婦の年収合計500万円未満**

・29歳以下（最大**60万円**）

・39歳以下（最大**30万円**）

・年収500万円以上、39歳以下（最大**10万円**）

お問合せ：豊田市役所 定住促進課 0565-34-6728

要件には**新居の場所による制限もありますので、市役所にご確認下さい。**



昨年一般質問で要望した事が実現しました!!

不妊治療への補助



<対象> ・生殖補助医療と**保険診療を併用して実施した医療費**

・R6年4月～の治療

<金額> ・自己負担額の7/10（上限10万円／回）

<助成回数> 女性の治療開始年齢

・40歳未満：通算6回まで（1子ごとに）

・40歳～43歳未満：通算3回まで（1子ごとに）

所得制限はありません。



会派で以前より要望した事が実現しました!!

お問合せ：豊田市役所 こども家庭課 0565-34-6966

トイレカー導入

<目的>

・能登半島地震では**トイレ問題**が深刻化したため、**衛生面や機動性が有効**である、「トイレカー」の導入が必要と判断した。

<概要>

・市内で**トイレカーを製造している3社から1台ずつ**導入することにより、迅速な災害対応・市内企業との連携強化を図る。

<開発・製造元>

・トヨタ自動車（株）

・新明工業（株）

・（株）メイダイ

トヨタ自動車製



平常時は**防災訓練**などで活用



プレミアム商品券発行

<目的> ・市内での**消費喚起を促し、経済の好循環を生み出す。**

<プレミアム率> ・**購入額の30%**＝（例）1万円 → 1万3千円

<販売> ・商工会議所などの各団体が個別に発行、販売。

<市の負担> ・プレミアム分＋印刷などの事務経費の60%

販売方法などの詳細は市HP<商業観光課>を確認してください。



過去の商品券



私の活動等 ご紹介

市内視察、行事参加



私

新博物館を視察

令和6年4月26日（金）開館しました。豊田市の歴史をご家族皆さんで感じて下さい。

豊田市の約7割の地域が森林です。**最新の設備導入**により、間伐の促進が図られ、**水資源の保全につながります。**



間伐の作業現場を視察

地域活動



私

地域ソフト大会

地域の親睦の輪が広がる事に期待しています。
私もプレーしたいけど、体力が心配で!?

地区の交流館にて地域の皆さんの**取組と課題を確認**しました。
私もできる限り協力したいと思います。



私

コミュニティ会議